

大雨による防災情報 (第9報)

湯沢河川国道事務所  
災害対策支部【警戒体制(砂防)】継続

現在、湯沢河川国道事務所では、8月9日に発生した仙北市供養佛地区の土砂災害以降、災害対策支部警戒体制(砂防)を継続しています。  
9月16日15時、台風18号の影響により八幡平山系秋田県側(仙北市田沢湖生保内地内)の雨量観測所の連続雨量が120mmを超過しました。今後の降雨状況を見て、管内砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

◆砂防降雨状況(9月16日15時00分現在)

山系	雨量観測所(仙北市)	連続雨量	時間雨量14~15時	
八幡平山系(秋田県側)	黒湯	128mm	16mm	※雨量超過観測所
	熊ノ台	74mm	12mm	
	生保内	127mm	10mm	※雨量超過観測所
	小先達	51mm	13mm	

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日9時00分	—	—

◆その他

現時点では、当該地区での土砂災害情報は入っておりませんが、引き続き気象情報にご注意願います。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所  
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2  
TEL 0183-73-3174 (事務所代表)

〈砂防〉 調査第一課長 畑山 作栄 (内線351)